番号 1840040 __ 001

【1.基本情報】

L I I CENT I I I TIMA								
事業名		V	とり・やすらぎ道空間(市橋地区)					
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課				
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市			
実施期間	平成26 年度~	令和4 年度	根拠法令·関連計画		_			

【2.事業概要】

【乙.手:	耒慨妛】	
事業の目的		当該地区は小学校に通学する児童など、通学等の歩行者、自転車利用者が多く、朝夕の通勤時間帯には、幹線道路などの渋滞を避ける自動車が流入し、非常に危険な状況となっており、その結果、交通事故率が高く、国土交通省と警察庁からあんしん歩行エリアに指定されている。歩行者や自転車利用者の安全を確保するため、路側のカラー化や歩道整備等を行うことにより、あんしん歩行エリアの形成を推進する。
事	業の内容	路肩のカラー化、歩道の整備、交差点のカラー化
事業	何を	通学路を中心として、警察や地元住民、学識経験者などによる協議会の中で危険性が高いと判断された歩道や歩車 共存道路
果の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象	どのくらい	整備延長 L=3, 950m
令和3年度 (実施内容)		歩車共存道路整備 L=280.9m

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1) ハールルルーシーハ	·					
	令和元年	令和元年度決算額		令和2年度決算額		
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
正職員	5,100	150	4,875	150	4,845	150
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	5,100	150	4,875	150	4,845	150

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	24,680	89,355	48,892
Ì	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
72	工事請負費	24,680	89,355	48,892
項目				
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	24,680	89,355	48,892

(3)総コスト

(4) -t- NR -th (-)	令和元年度決算額(十円)	令和2年度決算額(十円)	令和3年度决算額(十円)
総事業費(E)=A+D	29,780	94,230	53,737

【4.収入】

L PV7 V2				
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	
国庫支出金	12,205	40,295	25,932	
県支出金				
市債	10,900	38,800	23,200	
使用料・手数料				
その他				
計(F)	23,105	79,095	49,132	

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	6,675	15,135	4,605

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_		_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	道路整備延	単	位	m		
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	325		358.9			280.9
実績値	325		358.9			280.9

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	歩行者・自転車事	故の減少	単	位	%
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	事業完了後20%減少	事業完了後	€20%減少	事	業完了後20%減少
実績値	_		_		_
達成状況					_

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)	
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県))	高	交通事故率が高いエリア内において、地元住民等で構成された協議会で選定された交通安全対策であるため、市民・社会のニーズに合っている。	
※【1】【2 】 から		岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。	
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	整備費用に対し、歩行者・自転車の事故減少効果は高い。	
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から		公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要が ある。	
有効性 (期待した効果が得られたか		整備が完了すれば、サービスを提供でき、計画した効果が将来にわた	
又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から		り得られる見込みである。	
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か)	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であるため、公平性は高	
※[2][6][7]から		⟨ ``o	
〔総合評価〕		歩行者や自転車の安全な通行を確保する道路整備であるため、引き	
(現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	維持	続き事業を実施していく必要がある。	

番号 1840040 __ 002

【1.基本情報】

L PERMITTING								
事業名		加納	栄町通り3丁目加納東丸町1丁目線					
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課				
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体 岐阜市				
実施期間	平成27 年度~	令和4 年度	根拠法令·関連計画		_			

【2.事業概要】

事美	業の目的	車道と歩道を分離することで、高齢者、障がい者及び児童生徒をはじめとする歩行者に対する安全で快適な歩行空間を創出する。
事業の内容		安全で快適な歩行空間を確保するために、バリアフリーに対応した歩道整備を行う。
事業	何を	安全で快適な歩行空間を確保するための歩道改良
兼の対	誰に	道路利用者(高齢者、障がい者、児童生徒をはじめとする歩行者)
象	どのくらい	道路整備延長 L=520m、道路幅員 W=20.0m(両側歩道 W=3.5m、車道 W=13.0m) (排水工、舗装工、区画線工、安全施設工)
	和3年度施内容)	工事 L=92.0m (排水工、舗装工、区画線工、安全施設工)

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1) ハール・ローの							
	令和元年	度決算額	令和2年度決算額		令和3年	令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	
正職員	4,420	130	4,225	130	4,199	130	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0		
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0		
計(A)	4,420	130	4,225	130	4,199	130	

(2)物にかかるコスト

È	一 上 上 4寸 井			
	直接経費 【直接事業費】	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【旦佞爭耒賃】 (B)	58,904	29,431	39,870
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	工事請負費	58,904	29,431	39,870
項目				
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	58,904	29,431	39,870

(3)総コスト

W + W + (D) + D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(十円)
総事業費(E)=A+D	63,324	33,656	44,069

【4.収入】

E D 10 12			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	28,050	14,050	19,935
県支出金			
市債	25,200	14,000	17,900
使用料・手数料			
その他			
計(F)	53,250	28,050	37,835

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	10,074	5,606	6,234

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数		<u> </u>	_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	道路整備延長			位	m	
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	70		70.0			92.0
実績値	68		69.0			92.0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	歩道のバリアフリー化率			位	%	
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	76		85			90
実績値	64		77			90
達成状況	×(未達成)	×(未達成))		○(達成)	

【8.評価】					
評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)			
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	高齢者や子どもをはじめとする道路利用者(歩行者)に対する、安全で 快適な道路整備である。			
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	IHJ	岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。			
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	不特定多数が利用する安全安心な道路整備であり、歩行者の安全で 快適な利用に有効な事業である。			
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	[F]	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。			
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歩道のバリアフリー化により、安全で快適な歩行空間を確保することができる。			
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から		幹線道路である都市計画道路の整備であり、高齢者や通学児童・生 徒を中心とした多数の利用者の利益に資する。			
「総合評価」 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	歩道改良によるバリアフリー化の実施により、高齢者、障がい者をはじめとする歩行者に対する安全で快適な歩行空間が創出されており、引き続き事業を実施していく必要がある			

番号 0180040 __ 003

【1基本情報】

事業名	早田正木線							
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課				
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市			
実施期間	平成23 年度~	令和3 年度	根拠法令·関連計画		-			

【2.事業概要】

	77	下物女』	
事業の目的		5 (/) 🖂 (/)	事業区間は、大規模ショッピングモールが隣接していることから自動車、歩行者の通行が多いが、既存歩道は狭く危険な状況となっており、歩行者の安全確保が求められている。当該区間の整備により、中心市街地から(仮称)岐阜ICや三次救急医療機関である岐阜大学医学部付属病院へのアクセス向上と、歩行者、自転車の安全性の向上を図る。(アクセス道路は県と市が連携して整備を行っている。)
事業の内容		炎の内容	市道(早田正木線)の整備
事		何を	市道(早田正木線)の整備
業の対)	誰に	地域住民及び道路利用者
多		どのくらい	整備延長 120m
	令和3年度 (実施内容)		工事、支障移転補償

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1) ハールルルーシーハ							
	令和元年度決算額		令和2年	度決算額 令和3年度決算額			
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	
正職員	1,020	30	1,625	50	1,292	40	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0		
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0		
計(A)	1,020	30	1,625	50	1,292	40	

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	29,702	65,350	42,007
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
7-7	工事請負費	29,702	65,350	42,007
項目	用地補償費			
	委託料			
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	29,702	65,350	42,007

(3)総コスト

40 + W # (D) • D	令和元年度決算額(十円)	一	令和3年度決算額(十円)
総事業費(E)=A+D	30,722	66,975	43,299

【4.収入】

A P			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	11,801	33,545	41,200
県支出金			
市債	10,600	26,300	807
使用料•手数料			
その他			
計(F)	22,401	59,845	42,007

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	8,321	7,130	1,292

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長	単	位	m		
	令和元年度	令和2年度	令和2年度		令和3年度	
目標値	111		190			364
実績値	111		190			364

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	道路混雑の緩和			位	車線
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	4(整備完了時)	4(整備	育完了時)		4(整備完了時)
実績値	_		_		-
達成状況	_	_			_

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、中心市街地から(仮称)岐阜IC、岐阜大学医学部付属病院へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	li-i	岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	本路線は、JR岐阜駅を起点とし、主要地方道岐阜環状線を結ぶ、本市を南北に貫く幹線道路であるため、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	[FI]	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了れば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②中心市街地から(仮称)岐阜IC、岐阜大学医学部付属病院へのアクセス向上(定時性の確保) ③良好な市街地の形成(地域の活性化)
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から		多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	中心市街地から(仮称)岐阜ICや三次救急医療機関である岐阜大学 医学部付属病院へのアクセス向上と、歩行者、自転車の安全性の向 上を図るため、引き続き事業を実施していく必要がある。

番号 0180040 004

【1.基本情報】

I PENTOTAL									
事業名		折立9号線							
担当部名	基盤型	を備 部	担当課名	道路建設課					
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市				
実施期間	平成24 年度~	令和5 年度	根拠法令·関連計画		-				

【2.事業概要】

12 -	于不	「	
<u>H</u>	事業の目的		事業区間の整備により、中心市街地から(仮称)岐阜ICや三次救急医療機関である岐阜大学医学部付属病院へのアクセス向上を図る。(アクセス道路は県と市が連携して整備を行っている。) また、事業区間は、黒野小学校の通学路であり、道路整備後の歩行者の安全確保が求められているため、歩行者、自転車の安全性の向上を図る。
事業の内容		の内容	市道(折立9号線)の整備
事		何を	市道(折立9号線)
業の対		誰に	地域住民及び道路利用者
象		どのくらい	整備延長 500m
令和3年度 (実施内容)			工事

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年		令和3年		
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	
正職員	3,060	90	5,850	180	2,907	90	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0		
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0		
計(A)	3.060	90	5,850	180	2.907	90	

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	134,038	229,940	93,653
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
70.75	工事請負費	112,685	229,940	93,653
項目	用地補償費	21,353		
	委託料			
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	134,038	229,940	93,653

(3)総コスト

(4) -t-> NIC -th (> -	令和元年度决算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	分和3年度決算額(十円)
総事業費(E)=A+D	137,098	235,790	96,560

【4.収入】

L PV7 V2			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	63,680	111,913	47,170
県支出金			
市債	57,100	96,200	38,594
使用料・手数料			
その他			
計(F)	120,780	208,113	85,764

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	16,318	27,677	10,796

令和元年度		令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長	単	位	m		
	令和元年度 令和2年度				令和3年度	
目標値	412		740			502
実績値	412		240			502

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮			位	分
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	約6分/2.8km(整備完了時)	約6分/2.8km(整備	第完了時)	約6分/2	8km(整備完了時
実績値	_		_		
達成状況	_	_			-

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、中心市街地から(仮称)岐阜IC、岐阜大学医学部付属病院へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	1	岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。また、併走する主要地方道岐阜大野線の主要渋滞箇所(2箇所)の混雑の緩和が見込まれる。
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	[H]	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②中心市街地から(仮称)岐阜IC、岐阜大学医学部付属病院へのアクセス向上(定時性の確保) ③主要渋滞箇所の混雑緩和
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から		多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	中心市街地から(仮称)岐阜ICや三次救急医療機関である岐阜大学 医学部付属病院へのアクセス向上を図る。 また、事業区間は、黒野小学校の通学路であり、道路整備後の歩行者 の安全確保が求められているため、歩行者、自転車の安全性の向上 を図るため、引き続き事業を実施していく必要がある。

番号 0180040 __ 005

【1.基本情報】

I CENTIFIED						
事業名	折立12号線					
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課		
実施方法	直営	補助等の種類	_	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成29 年度~	令和4 年度	根拠法令·関連計画		-	

【2.事業概要】

벁	事業(4車線に拡幅される折立9号線の整備により分断される折立地区内の細道路からの交通を集約させ、すれ違いを可能な幅員(W=6m)に拡幅し、安全に折立9号線へ流出入及び横断させる。
事業の内容		の内容	市道(折立12号線)の整備
事 何を 市道(折立12号線)		何を	市道(折立12号線)
の	業 の 対 象 どのくらい		地域住民及び道路利用者
			整備延長 370m
	令和3年度 (実施内容)		工事

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

		令和元年度決算額		令和2年	令和2年度決算額		令和3年度決算額	
		人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	
正職	員	340	10	975	30	969	30	
ハートタイム会計年 (旧嘱		0		0		0		
パートタイム会計年 (臨時雇		0		0		0		
計()	A)	340	10	975	30	969	30	

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	1,007	4,196	40,180
Ì	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	工事請負費			40,180
項目	用地補償費	1,007	3,173	
	委託料		1,023	
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	1,007	4,196	40,180

(3)総コスト

令和元年皮决算額(十円)	令和2年度決算額(十円)	令和3年度決算額(十円)
1,347	5,171	41,149
	1 347	1 347 5 171

【4.収入】

R PVV 12				
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	
国庫支出金	500	2,096	20,050	
県支出金				
市債	400	1,500	20,050	
使用料・手数料				
その他				
計(F)	900	3,596	40,100	

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	447	1,575	1,049

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	
受益者数	_	_	_	
受益者負担額(千円)	0	0	0	
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)				

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長			位	m	
	令和元年度 令和2年度				令和3年度	
目標値	0		160			145
実績値	0		0			145

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故死者、負傷者数減少		単	位	
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備	第完了時)		減少(整備完了時)
実績値	_		-		_
達成状況	_	_			_

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)		
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県))	高	分断される折立地区内の細道路からの交通を安全に折立9号線へ流 出入及び横断させるため、折立地区の住民及び折立9号線利用者の ニーズに合っている。		
※【1】【2】 から		岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。		
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	交通事故減少などの整備効果が高い。また、現況の有効幅員が約2.8 mであり、車のすれ違いが不可能であるが、6mに拡幅することで安全なすれ違いが可能となる。		
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	17.3	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要が ある。		
有効性 (期待した効果が得られたか	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①折立12号線での安全なすれ違いが可能		
又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	同	②折立地区内から折立9号線への流出入時及び横断時の安全確		
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か)	高	地域住民等が利用する道路であり、公平性は高い。		
※[2][6][7]から	1004			
[総合評価]	現状	折立地区内の細道路からの交通を集約させ、安全に折立9号線へ流		
(現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	維持	出入及び横断させるため、引き続き事業を実施していく必要がある。		

番号 1840040 007

【1.基本情報】

-	Z - 122 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2							
	事業名	柳津14号線ほか1路線						
	担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課			
	実施方法	直営	補助等の種類	_	実施主体	岐阜市		
	実施期間	平成23 年度~	令和5 年度	根拠法令·関連計画		_		

【2.事業概要】

事業の目的		柳津ものづくり産業集積地の開発に伴い、周辺道路網の整備として、主要地方道 岐阜垂井線からのアクセス性を向上させ、円滑な交通分散を図るとともに、歩道を設置して歩行者の安全性を確保する。
事業の内容		市道(柳津14号線ほか1路線)の整備
事	何を	柳津14号線ほか1路線
業の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象	どのくらい	整備総延長 L450m
	和3年度 (施内容)	用地交渉

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1) ハーンハーン・シーン						
	令和元年度決算額		令和2年	令和2年度決算額		
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
正職員	340	10	163	5	162	5
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	340	10	163	5	162	5

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	4,638	0	0
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
70.75	工事請負費	2,145	0	0
月目	用地補償費	2,493	0	0
	委託料			
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	4,638	0	0

(3)総コスト

/ O > U/C >	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(十円)	令和3年度決算額(十円)
総事業費(E)=A+D	4,978	163	162

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	1,939	0	0
県支出金			
市債	1,600	0	0
使用料・手数料			
その他	759	0	0
計(F)	4.298	0	0

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	680	163	162

TOI-1241 222 247			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

I	活動指標名	整備延長		単	位	m	٦
		令和元年度 令和2年度				令和3年度	
	目標値	_		_		-	-1
	実績値	_		_		-	-1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故死者、負傷者数減少			位	%
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備	前完了時)		減少(整備完了時)
実績値	_		_		-
達成状況	_	_			_

3.評価】				
評価項目	評価			
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	柳津ものづくり産業集積地から幹線道路へのアクセスが向上すること から、市民・社会のニーズに合っている。		
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	IHJ	岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。		
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。また、主要地方道岐阜垂井線と一般県道鶉羽島線の周辺渋滞箇所の混雑の緩和が見込まれる。		
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	一	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。		
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②柳津ものづくり産業集積地から幹線道路へのアクセス向上 ③主要渋滞箇所の混雑緩和		
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。		
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	柳津ものづくり産業集積地の主要地方道 岐阜垂井線からのアクセス性を向上させ、円滑な交通の分散を図り、かつ歩道を設置し、通学路の安全性を確保することは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。		

番号 0180040 __ 008

【1.基本情報】

K THE TANK	TITIO TRA					
事業名	七郷33号線ほか1路線					
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市	
実施期間	令和1 年度~	令和11 年度	根拠法令·関連計画		-	

【2.事業概要】

V 7	【C.于木帆女】					
事業の目的		当該事業区間は近隣に位置する岐阜西中学校の通学路になっているが、多くの 生徒が歩道の無い狭隘な道路を自動車と混在して通学しているため、安全確保が 求められている。当該区間の整備により、通学路の安全を確保するとともに、この地域の医療の中心である岐阜清流病院(二次救急医療機関)及び、岐阜大学医学部付属病院 (三次救急医療機関)へのアクセス性の向上を図る。また、本路線の整備は本巣市や北方町方面との広域道路ネットワーク形成に寄与するものである。				
事	業の内容	市道(七郷33号線ほか1路線)の整備				
事業	何を	市道(七郷33号線ほか1路線)の整備				
果の対	誰に	地域住民及び道路利用者				
象						
令和3年度 (実施内容)		工事、補償				

【3.支出(行政コスト)】

_ (1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
正職員	2,040	60	1,950	60	1,938	60
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	2,040	60	1,950	60	1,938	60

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	8,896	16,773	78,641
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	工事請負費			39,979
項目	用地補償費		9,884	38,662
	委託料	8,896	6,889	
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	8,896	16,773	78,641

(3)総コスト

40 + W # (D) • D	令和元年度決算額(十円)	令和2年度決算額(十円)	令和3年度決算額(十円)
総事業費(E)=A+D	10,936	18,723	80,579

【4.収入】

B P 72			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金		8,384	34,128
県支出金			
市債		7,100	31,400
使用料•手数料			
その他			
計(F)	0	15,484	65,528

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	10,936	3,239	15,051

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長			位	m	
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	0		40			79
実績値	0		0			79

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故 死傷者数		単	位	人
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備	前完了時)		減少(整備完了時)
実績値	_		_		-
達成状況	_	_			_

3.評価】						
評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)				
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、救急医療機関へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。				
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	本路線は、本市北西部地域を南北に貫く主要な幹線道路であり、主要地方道岐阜環状線、主要地方道岐阜関ヶ原線、都市計画道路長良糸貫線と一体となって都市幹線道路網を形成するため、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。 公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。				
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歩道が整備された区間においては歩行者の安全が確保されている。 工事完成区間において良好な市街地が形成され、沿道には薬局等の 店舗が多数出店するなど、まちづくりとしての効果を発揮している。				
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。				
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	通学路の安全が確保され、さらには、この地域の医療の中心である二 次救急医療機関の岐阜清流病院及び、三次救急医療機関である岐 阜大学医学部付属病院のアクセスの向上を図るため、引き続き事業を 実施していく必要がある。				

番号 1840040 __ 009

【1.基本情報】

L - CENTIN TWA						
事業名	水野町線					
担当部名	基盤型	整備部	担当課名	道路建設課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体 岐阜市		
実施期間	H8 年度~	R7 年度	根拠法令·関連計画		-	

【2.事業概要】

事	耳業の目的	都市計画道路水野町線は、JR岐阜駅連続立体交差事業の完成(H10)に合せて、駅北地区と駅南地区を結ぶ交通の確保と、増加が予想される駅周辺の交通の円滑化を図る。
事業の内容 都市計画道路(水野		都市計画道路(水野町線)の整備
事 何を 都市計画道路(水野町線)		都市計画道路(水野町線)
業の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象	どのくらい	整備総延長 L=332m
	分和3年度 実施内容)	建物調査、道路改良工事、電線共同溝整備工事、引込管路等設備工事委託

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1) ハにかいのコハ	•					
	令和元年	令和元年度決算額		F度決算額 令和3年度決算額		
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
正職員	2,720	80	5,850	180	5,814	180
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	2,720	80	5,850	180	5,814	180

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	398,481	177,993	177,469
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
772	工事請負費	6,570	141,012	169,486
項目	用地補償費	381,701	0	4,683
	委託料	10,210	36,981	3,300
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	398,481	177,993	177,469

(3)総コスト

40 ** ** ** * * * * * * * * * * * * * *	令和元年度決算額(十円)	令和2年度决算額(十円)	令和3年度決算額(十円)
総事業費(E)=A+D	401,201	183,843	183,283

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	198,200	80,870	83,311
県支出金			
市債	178,100	72,500	74,900
使用料・手数料			
その他			
計(F)	376,300	153,370	158,211

市負担額一船	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	24,901	30,473	25,072

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_		
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単	位	m	
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	50		300			260
実績値	71		193			275

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単	位	分
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	2(整備完了時)	2(整備	完了時)		2(整備完了時)
実績値	_		-		_
達成状況					_

【8.評価】 評価項目	評価	
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、岐阜駅周辺の混雑緩和が図れることから、市民・社会のニーズに合っている。
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	[H]	岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	本路線は、中心市街地を南北に縦貫する幹線道路であり、北の都市計画道路栄町西/荘線と南の都市計画道路新本町市橋線を含む都市幹線道路網を形成するため、走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	[F]	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②都市幹線道路網の強靭化 ③主要渋滞箇所の混雑緩和
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	JR岐阜駅北地区と駅南地区を連絡し、駅周辺の交通の円滑化を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

番号 0180040 __ 010

【1.基本情報】

L LEVITIRITAZ					
事業名	西部縦貫道線				
担当部名	基盤整	基盤整備部 担当課名 道路建設課			道路建設課
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体 岐阜市	
実施期間	平成19 年度~	年度	根拠法令·関連計画		-

【2.事業概要】

7-1-3	******** *	
事業の目的		事業区間は近隣に位置する七郷小学校、岐阜西中学校の通学路となっているが、現在多くの生徒が歩道の無い狭 隘な生活道路を自動車と混在して通学しているため、歩行者の安全確保が求められている。当該区間の整備により、 通学路の安全が確保され、さらには、この地域の医療の中心である二次救急医療機関の岐阜清流病院及び、三次救 急医療機関である岐阜大学医学部付属病院のアクセスの向上を図る。
事業の内容都市計画		都市計画道路(西部縦貫道線)の整備
		都市計画道路(西部縦貫道線)
業の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象	どのくらい	整備延長 1,488m
	介和3年度 実施内容)	工事

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1//(1/// 1// 1// 1// 1// 1// 1// 1// 1/						
	令和元年度決算額		令和2年		令和3年	度決算額
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
正職員	1,700	50	1,625	50	1,615	50
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1.700	50	1,625	50	1,615	50

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	273,595	108,334	61,056
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
77	工事請負費	267,137	106,988	61,056
項目	用地補償費	6,458	466	
	委託料		880	
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	273,595	108,334	61,056

(3)総コスト

/ () = t >) (= t + / -)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	275.295	109.959	62.671

【4.収入】

K P47 42			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	19,831	53,105	30,520
県支出金			
市債	17,800	48,500	22,900
使用料・手数料			
その他			
計(F)	37,631	101,605	53,420

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	237,664	8,354	9,251

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単	单位 m		
	令和元年度	令和2年度	令和3年		令和3年度	
目標値	438		170			160
実績値	438		140			160

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故 死傷者数		単	位	人
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備	前完了時)		減少(整備完了時)
実績値	_		_		-
達成状況					_

【8.評価】 評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	歩行者と自転車の安全な通行を確保向上することから、市民・社会のニーニー 岐阜市が管理する道路であるため、「本路線は、本市北西部地域を南北に地方道岐阜環状線、主要地方道岐阜環線と一体となって都市幹線道路網走行経費減少、交通事故減少などの公共性が高く民間等で実施が困難なある。	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、救急医療機関へのアクセスが 向上することから、市民・社会のニーズに合っている。
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から		岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	喜	本路線は、本市北西部地域を南北に貫く主要な幹線道路であり、主要地方道岐阜環状線、主要地方道岐阜関ヶ原線、都市計画道路長良糸 貫線と一体となって都市幹線道路網を形成するため、走行時間短縮、 走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	前	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歩道が整備された区間においては歩行者の安全が確保されている。 工事完成区間において良好な市街地が形成され、沿道には薬局等の 店舗が多数出店するなど、まちづくりとしての効果を発揮している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	通学路の安全が確保され、さらには、この地域の医療の中心である二 次救急医療機関の岐阜清流病院及び、三次救急医療機関である岐 阜大学医学部付属病院のアクセスの向上を図るため、引き続き事業を 実施していく必要がある。

番号 1840040 __ 011

【1.基本情報】

- 4	<u> </u>						
	事業名			北一色老	吉宮地線		
	担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課		
	実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市	
	実施期間	H24 年度~	R6 年度	根拠法令·関連計画		-	

【2.事業概要】

事	業の目的	都市計画道路北一色若宮地線は、岐阜県総合医療センターへのアクセス道路として、第2次緊急輸送道路に指定されているが、未整備であるため本路線を早期整備する。 また、道路の整備によって長森コミニュニティーセンター周辺における歩行者の安全確保及び交通の円滑化を図る。
事	業の内容	都市計画道路(北一色若宮地線)の整備
事	何を	都市計画道路(北一色若宮地線)
業の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象	どのくらい	整備総延長 L=350m
	和3年度 [施内容]	道路改良工事

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

		令和元年度決算額		令和2年	令和2年度決算額		度決算額
		人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
	正職員	2,040	60	1,950	60	323	10
∧°-	-トタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
Λ°−	-トタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
	計(A)	2,040	60	1,950	60	323	10

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	51,259	70,501	4,905
Ì	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
77	工事請負費	48,731	70,501	4,905
項目	用地補償費	0	0	0
	委託料	2,521	0	0
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	51,259	70,501	4,905

(3)総コスト

And A company of the	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	
総事業費(E)=A+D	53.299	72.451	5.228	

【4.収入】

E P			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	23,928	28,690	0
県支出金			
市債	21,500	27,400	0
使用料・手数料			
その他			
計(F)	45,428	56,090	0

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	7,871	16,361	5,228

	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者		
受益者数	_	_	_		
受益者負担額(千円)	0	0	0		
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%		
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)					

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単	位 m		
	令和元年度	令和2年度	令		令和3年度	
目標値	160		70			35
実績値	141		48			34

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	交通事故死者、負傷者数減少			位	人
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	減少(整備完了時)	減少(整備	前完了時)		減少(整備完了時)
実績値	_		_		-
達成状況					_

【8.評価】		
評価項目	評価	
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)		歩行者と自転車の安全な通行を確保し、救急医療機関へのアクセスが 向上することから、市民・社会のニーズに合っている。
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果)		本路線は、都市計画道路岐阜蘇原線と岐阜県総合医療センターを結ぶ二次緊急輸送道路であり、救急医療機関へのアクセスおよび、走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少などの整備効果は高い。
(②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	都市間、中心市街地と地域生活拠点を有機的に結ぶネットワークの形成を目指し、都市計画道路網の整備を進めるために必要な事業であり、継続して推進する必要がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
〔 総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)		岐阜県総合医療センターへのアクセス道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されている本路線を整備し、かつ長森コミニュニティーセンター周辺における歩行者の安全確保及び交通の円滑化を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

番号 1840040 __ 013

【1.基本情報】

K - ICE-VI - IDITIMA								
事業名		金町那加岩地線ほか1路線						
担当部名	基盤整備部				担当課名	道路建設課		
実施方法	直'	営	補助等の	の種類	_	実施主体	岐阜市	
実施期間	R1	年度~	R10	年度	根拠法令·関連計画		-	

【2.事業概要】

事業の目的		都市計画道路金町那加岩地線ほか1路線は、各務原市が実施する(都)日野岩地大野線と一体的に整備することにより、県総合医療センターへの緊急搬送時間の短縮、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保するとともに、相互の広域道路ネットワークの形成を図る。
事	業の内容	都市計画道路(金町那加岩地線ほか1路線)の整備
事	何を	都市計画道路(金町那加岩地線ほか1路線)
業の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象	どのくらい	整備総延長 L=890m
	和3年度 施内容)	詳細設計業務、用地測量、建物調査

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1/)(10/3/3/3/3/3/7/	•						
	令和元年度決算額		令和2年	度決算額	令和3年度決算額		
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	
正職員	2,040	60	3,900	120	20,349	630	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0		
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0		
計(A)	2,040	60	3,900	120	20.349	630	

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	16,500	52,580	616,325
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
70.75	工事請負費			
項目	用地補償費			580,715
	委託料	16,500	52,580	35,610
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	16,500	52,580	616,325

(3)総コスト

(1)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	
総事業費(E)=A+D	18.540	56.480	636.674	

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)				
国庫支出金	0	26,290	308,162				
県支出金							
市債	0	23,500	277,300				
使用料・手数料							
その他							
計(F)	0	49,790	585,462				

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	18,540	6,690	51,212

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

	活動指標名	整備延長			位	m	
		令和元年度	令和2年度			令和3年度	
	目標値	-		_			=
Г	実績値	-		_			-

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮			位	分
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	4(整備完了時)	4(整備	第完了時)		4(整備完了時)
実績値	_		_		-
達成状況					_

(8.評価)				
評価項目	評価			
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、広域道路ネットワークの形成を図り、救急医療機関へのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。		
	12)	岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。		
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか		本路線は、都市計画道路日野岩地大野線、岐阜鵜沼線及び県道長森各務原線を結ぶ道路となり、各務原市との広域道路ネットワークの 形成、救急医療機関へのアクセスおよび、走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少などの整備効果は高い。		
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。		
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①各務原市との広域道路ネットワークの形成 ②幹線道路網の強靭化 ③主要渋滞箇所の混雑緩和 ④緊急医療機関への緊急搬送時間の短縮		
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。		
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	各務原市と連携し整備することで、相互の広域道路ネットワークの形成を図る幹線道路であり、県総合医療センターへの緊急搬送時間の短縮、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保することは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。		

番号 0180040 014

【1.基本情報】

	事業名	西郷302号線				
	担当部名	基盤型	を備 部	担当課名	道路建設課	
ĺ	実施方法	直営	補助等の種類	_	実施主体	岐阜市
	実施期間	令和2 年度~	令和8 年度	根拠法令·関連計画		-

【2.事業概要】

事業の目的		西郷302号線は、本巣市及び岐阜県が実施する(都)長良糸貫線と一体的に整備することにより、(仮称)糸貫ICへのアクセス向上、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保するとともに、相互の広域道路ネットワークの形成を図る。
事業の内容		西郷302号線
事 何を 西郷302号線		西郷302号線
業の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象	どのくらい	整備総延長 L=400m
	和3年度 実施内容)	測量業務、詳細設計業務

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1) バにかかるコハ	•						
	令和元年	度決算額	令和2年度	令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	
正職員	_		325	10	646	20	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	_		0		0		
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	-		0		0		
計(A)	-	-	325	10	646	20	

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	_	7,090	23,453
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
70.75	工事請負費			
月目	用地補償費			
	委託料		7,090	23,453
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)		0	0
	計(D)=B+C	_	7,090	23,453

(3)総コスト

/ () = t > > (- >)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	<u> </u>	7.415	24.099

【4.収入】

<u> </u>			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			10,500
県支出金			
市債			10,500
使用料・手数料			
その他			
計(F)	_	0	21,000

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	_	7,415	3,099

KOI-VII DE T 12			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	_	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	_	0	0
受益者負担率(%)	_	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

ſ	活動指標名	整備延長			位	m	
		令和元年度 令和2年度				令和3年度	
Ī	目標値	_		0			0
	実績値	T		0			0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単	位	分
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	_	減少(整備	前完了時)		減少(整備完了時)
実績値	_		_		-
達成状況	_	_			_

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、広域道路ネットワークの形成を図り、(仮称)糸貫ICへのアクセスが向上することから、市民・社会のニーズに合っている。 岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	峝	本路線は、(都)長良糸貫線の一部であり、本巣市との広域道路ネットワークの形成、(仮称)糸貫ICへのアクセスおよび、走行時間短縮、走行経費削減、交通事故減少などの整備効果は高い。
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から		公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要が ある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①本巣市との広域道路ネットワークの形成 ②幹線道路網の強靭化 ③主要渋滞箇所の混雑緩和 ④歩行者と自転車の安全確保
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民等が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状 維持	本巣市と連携して整備することで、相互の広域道路ネットワークの形成を図る幹線道路であり、周辺道路の渋滞緩和、通学路の安全を確保することは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

番号 1840040 __ 015

【1.基本情報】

事業名	道路局部改良					
担当部名	基盤整備部		担当課名	道路建設課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市	
実施期間	- 年度~	- 年度	根拠法令•関連計画		-	

【2.事業概要】

14.7	+未恢安』						
事	耳業の目的	通学路(小学校、中学校)や、生活道路において、すれ違い時、車や歩行者等の通行が危険な箇所の路肩を拡幅するなど整備することにより、高齢者をはじめとする交通弱者の安全性が向上することで、より安全・安心な道路交通環境の確保を図る。					
事業の内容		市道の拡幅(路肩改良)					
事業	何を	岐阜市が管理する道路					
果の対	誰に	地域住民及び道路利用者					
象							
	5和3年度 実施内容)	道路改良工事L=1162.0m 測量、調査 N=1式					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(I) XICH IN WOLK						
	令和元年度決算額		令和2年	令和2年度決算額		
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
正職員	1,360	40 1,950 60		60	2,584	80
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,360	40	1,950	60	2,584	80

(2)物にかかるコスト

	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	-		
	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	49,273	119,648	165,004
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
**T	工事請負費	44,369	106,953	159,638
項目	用地補償費	2,169	452	
	委託料	2,735	12,243	5,366
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)	0	0	0
	計(D)=B+C	49,273	119,648	165,004

(3)総コスト

(A)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	
総事業費(E)=A+D	50.633	121,598	167.588	

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	19,250 51,062		79,055
県支出金			
市債	17,000	46,600	72,400
使用料•手数料			
その他			
計(F)	36,250	97,662	151,455

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	
財源(E-F)	14,383	23,936	16,133	

	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者		
受益者数	_	_	_		
受益者負担額(千円)	0	0	0		
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%		
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)					

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長	単	位	m		
	令和元年度	令和2年度	令和2年度		令和3年度	
目標値	_		_			_
実績値	269		890			1,162

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	補助幹線道路整	単	位	路線		
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	_		-			-
実績値	5		10			10
達成状況						

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	地域に密接に関係した路線であり、必要性は高い。
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	[12]	岐阜市が管理する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	中	交通事故減少などの整備効果が高い。また、現況の有効幅員が狭い 箇所では拡幅することで安全なすれ違いが可能となる。
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	,	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	地域生活圏における道路であり、整備が完了すれば、地域交通の円 滑化、緊急時の避難経路の確保、通学路等の安全確保につながる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	地域住民等が利用する道路であり、公平性は高い。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)		幅員が狭小道路の拡幅により、地区内の交通の利便性を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

番号 1840040 __ 016

【1.基本情報】

E - 1 - 1 1 1 1 2							
事業名	長森343号線(長森駅北口交通広場整備)						
担当部名	基盤整備部			担当課名	道路建設課		
実施方法	直営	補助等の)種類	-	実施主体	岐阜市	
実施期間	R3 年度~	R5	年度	根拠法令•関連計画		-	

【2.事業概要】

	~ m > 1	
事業の目的		・JR長森駅北口に、コミバスロータリーや駐輪場等の施設整備(交通広場整備)をし、交通結節点の拡充を図る。 ・交通広場へのアクセス道路を整備し、道路・駅利用者の安全性、利便性の向上を図る。
事業の内容		長森343号線及び交通広場の整備
事	何を	長森343号線及び長森駅北口交通広場
業の対	誰に	地域住民及び道路・駅利用者
象	どのくらい	長森343号線整備延長L=180m、長森駅北口交通広場整備面積A=2,800㎡、自転車駐車場収容予定台数300台
令和3年度 (実施内容)		用地測量、予備設計

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1) XICN N 6 3 XI							
	令和元年度決算額		令和2年月	令和2年度決算額			
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	
正職員			_		1,163	36	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	_		_		0		
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	-		-		0		
計(A)	_	_	-	_	1,163	36	

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【直接事業費】 (B)	_	_	4,188
	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
77.7	工事請負費			0
項目				0
	委託料			4,188
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)			0
	計(D)=B+C	_	_	4,188

(3)総コスト

(()	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	_	_	5.351

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			0
県支出金			0
市債			0
使用料•手数料			0
その他			0
計(F)	_	_	0

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	_	_	5,351

KOI			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	_	_	地域住民及び道路・駅利用者
受益者数	_	_	_
受益者負担額(千円)	_	_	0
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	自転車駐車場収容	単	位	台		
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	-		_			300
実績値	-		_			150

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	自転車駐車場からあふれ	単	位	台		
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	_		-			0
実績値	_		_			100
達成状況						

評価項目	評価	
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、長森駅周辺の混雑解消が図 れることから、市民・社会のニーズに合っている。
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から		岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	本路線は、長森駅を利用する歩行者、自転車、自動車が多く通行する アクセス道路であるため、道路・駅利用者の安全性向上、利便性向 上、混雑解消、他の交通機関等とのアクセス性向上などの整備効果が 高い。
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	[F]	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①歩行者と自転車の安全確保 ②道路・駅利用者の利便性向上 ③駅周辺の混雑解消 ④他の交通機関等とのアクセス性向上
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	JR長森駅北口及び長森343号線を整備し、道路・駅利用者の安全性、利便性の向上を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。

番号 1840040 ___ 017

【1.基本情報】

事業名		鷺山下土居線							
担当部名	基盤整備部			担当課名		道路建設課			
実施方法	直	営	補助等	の種類	-	実施主体	岐阜市		
実施期間	R3	年度~	R9	年度	根拠法令•関連計画		_		

【2.事業概要】

事業の目的		都市計画道路鷺山下土居線は、(都)長良糸貫線から(都)環状線を南北に結ぶ幹線道路であり、鷺山中洙土地区画整理事業で整備される区間と本路線を同調して整備することで、交通の確保と、交通の円滑化を図る。
事業の内容		都市計画道路(鷺山下土居線)の整備
事何を		都市計画道路(鷺山下土居線)
業の対	誰に	地域住民及び道路利用者
象どのくらい		整備総延長 L=150m
令和3年度 (実施内容)		路線測量、道路予備設計、地質調査

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(1/2(1-1) 1) (0-1) (1						
	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)	人件費(千円)	人目(人)
正職員	_	-	_	-	97	3
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	_	_	_	-	0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	_	_	_	_	0	
計(A)	_	-	-	_	97	3

(2)物にかかるコスト

	直接経費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
•	【直接事業費】 (B)	_	_	5,126
Ī	直接事業費の 主な内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
*77	工事請負費	_	_	0
項目	用地補償費	_	_	0
	委託料	_	_	5,126
	減価償却費	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	【施設管理】 (C)			0
	計(D)=B+C	_	_	5,126

(3)総コスト

Construction (Construction)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+[_	_	5,223

【4.収入】

K PV7 V2			
収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	_	_	0
県支出金			
市債	-	_	5,126
使用料・手数料			
その他			
計(F)	_	_	5,126

市負担額一般	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
財源(E-F)	_	_	97

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業受益者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	地域住民及び道路利用者	
受益者数	_	_	_	
受益者負担額(千円)	_	_	0	
受益者負担率(%)			0.0%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)				

【7.指標】 アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	整備延長		単	位	m	
	令和元年度	令和2年度			令和3年度	
目標値	_		_			150
実績値	_		_			150

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	所要時間の短縮		単	位	分
	令和元年度	令和2年度			令和3年度
目標値	2(整備完了時)	2(整備	完了時)		2(整備完了時)
実績値	_		-		_
達成状況	_	_			_

【g 証価】

【8.評価】					
評価項目	評価				
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか)	高	歩行者と自転車の安全な通行を確保し、岐阜駅周辺の混雑緩和が図れることから、市民・社会のニーズに合っている。			
(②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	1~,	岐阜市が所管する道路であるため、市が担う必要がある。			
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか	高	本路線は鷺山字中洙から下土居字米田までを南北に結ぶ都市計画道路であり、(都)環状線から(主)岐阜大野線までは整備済みである。本路線より南側の区間は、鷺山中洙土地区画整理事業により整備され、同調して整備をすることで走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少などの整備効果が高い。			
(広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	1~,	公共性が高く民間等で実施が困難なため、岐阜市で実施する必要が ある。			
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	整備が完了すれば、下記の効果が将来に見込まれる。 ①円滑な交通の確保 ②災害時緊急車両等の確保 ③安全で快適な歩行空間の確保			
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が利用する公共性の高い道路であり、公平性は高い。			
〔 総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	(都)岐阜環状線から(都)長良糸貫線までを南北で結ぶことで、交通の円滑化を図ることは重要であるため、引き続き事業を実施していく必要がある。			